

コラボ研修会 第2弾 報告書



りくつなケアネット金澤

金沢市駅西地区で在宅療養されている方々の支援を目的に、機関や職種の垣根を越え、気軽に頼める顔の見える関係づくりを推進している多職種ネットワーク



加賀脳卒中地域連携協議会

脳卒中を発症された患者を支援するため、急性期から回復期、生活期に至るまで、“加賀パス”を用いた切れ目のない連携、普及を推進しているネットワーク

- | | |
|-------|---|
| ■開催日 | 平成27年6月10日(水) 19:00~20:50 |
| ■開催場所 | 石川県立中央病院 健康教育館2F 大研修室 |
| ■主催団体 | (共催) りくつなケアネット金澤 加賀脳卒中地域連携協議会 |
| ■参加人数 | 103名
(りくつなケアネット金澤/30名、加賀脳卒中地域連携協議会/11名、石川県立中央病院/24名、一般参加者/38名) |
| ■テーマ | 介護報酬改定を踏まえ、目標達成に向けた課題を抽出しよう!! |
| ■内容 | 1) 講義
『生活期の方々に寄り添った食事を目指して』
2) グループワーク
『加賀医療介護連携シートを使って在宅生活の目標を考えよう!!』 |

(司会) 尾崎 泰士 (千木病院 理学療法士/りくつなケアネット金澤)

《開会挨拶》 齊藤 典才 (城北病院 副院長/りくつなケアネット金澤)

「りくつなケアネット金澤」は金沢市駅西地区で在宅療養されている方の支援を目的に活動している団体で、当初は「金沢在宅療養を考える会」として、10名~20名で運営を行っていました。本日はグループワークも予定されておりますが、医療が益々複雑化する中、間違っても良いので自分の意見を言う事が大切です。積極的な議論を期待しています。

山田 哲司 (石川県立中央病院 院長)

回復期を終えた後、安心して生活していくためにも、地域全体で見守る仕組み作りは重要です。皆さんの知恵を借り、顔の見える関係が広がれば良いと思います。本日は宜しく願いいたします。

《講義》

『生活期の方々に寄り添った食事を目指して』

講師 坂下 理香 (芳珠記念病院 管理栄養士/加賀脳卒中地域連携協議会)

- ・栄養や食形態など、在宅で実践できること・・・
脳卒中再発予防の食事
⇒ 減塩、肥満予防、糖尿病やコレステロールのコントロール、お酒の適量
安全な食事形態の選択
⇒ 生活期では脱水に、糖尿病の方は低血糖に注意！



・「^{あい}I スケール」の紹介

Iスケールは、石川県栄養士会「あいスケールネットワークいしかわ」が作成した「食事形態を正しく伝える為のものさし」です。
医療機関・介護施設、在宅などの場において、様々な食形態が提供され、名前がつけられている現状の中、職種・地域を問わず、多くの皆様に活用した頂くことが目的です。

《介護報酬改定について》

解説 小川雄右 (金沢西病院 理学療法士/りくつなケアネット金澤)
今年度改定は、地域包括ケアシステムの構築が反映されており、中重度の要介護者や認知症の方でも、住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できることを主眼に、目的達成(社会参加に資する)への取組みに価値をつけている。



《グループワーク》(進行) 徳田 紀子 (言語聴覚士/加賀脳卒中地域連携協議会)

- 1 3グループに分け、各ファシリテーターが説明
- ↓
- 自己紹介～書記と発表者を決定
- ↓
- 加賀医療介護連携シート・加賀パスを用い、「生活の課題」のポイントを抽出し、「半年後の目標」を設定。 <事例> 加賀 花子さん(63歳)
- ↓
- ディスカッション (各職種からの目線での突合)
- ↓
- グループごとに、目標を発表

※主な発表内容 生活の課題 ⇒ 自宅の改修、服薬管理、DM管理 脳梗塞の再発予防。

半年後目標 ⇒ 月1回のランチ。友人と温泉に行く。買い物に一人で行ける。転倒せずに外出できる。公民館の集団体操に参加。自宅をコミュニティの場にして、ご近所の方や民生委員と交流する。折り紙教室で自宅に人を招く。地域のコミュニティに参加し、生きがいを見つける。等



《総評》

黒瀬 亮太（金沢ホームケアクリニック 院長／りくつなケアネット金澤）

私たちは地域の方々を支える仕事に携わっています。
今回のグループワークでは、それぞれの立場で有意義なディスカッションができたと思います。これからも皆で楽しくやりましょう！



《閉会挨拶》

池永 康規

（やわたメディカルセンター リハビリテーション科 科長／加賀脳卒中地域連携協議会）

今回、昨年につき、りくつなケアネット金澤さんと第2回目のコラボ研修を行い、参加者100名以上、多職種の参加があり、大変有意義な研修となりました。

前はICF分類を基に医療介護連携シートを用い、グループワークを行いました。今回は格段に進化し、シートの読みとりも問題点の把握も早くなり、目標設定や、その目標達成への対策まで進めることができました。グループワークでは初対面の方もいたと思いますが、退院時カンファレンスを見ている様でした。このまま第3回、第4回と続けていけば、すごい連携ができそうです。参加の皆さん、準備の皆さん、ありがとうございました。



報告者 りくつなケアネット金澤
森 昌秋